

2018年(平成30年)

9月13日

木曜日

# 日刊工業新聞

本社(TEL)83-5644-7000東京都中央区日本橋小網町14-1/大阪支社(TEL)306-844-3321大阪市中央区北浜東2-16/名古屋支社(TEL)052-931-6151名古屋市東区東2-21-28/西郷支社

## “水”に焦点を当てて取り組もう

国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択されてから9月で3年になる。日本でも主だった企業が取り組みを始めているが、中小企業も含めて、さらに多くの企業がSDGsを本格的に経営に実装し、2030年のゴールを目指してほしい。

SDGsは、17目標と達成のための169のターゲットで構成されている。17目標すべてを達成するのは大変なように感じるが、実は目標の多くが「水」の視点からみると分かりやすい。グローバルウォーター・シヤパンの吉村和就代表は「⑥安全な水とトイレはもちろん、ほかの項目のほとんどが水と関係しており、水問題を解決することSDGs17項目全部を達

### SDGs17目標

### 社説

成する力キであると断言する。

古代の世界4大文明は大河流域で生まれ、水が豊富な地域は農耕や漁業によつて食糧が得られ、①の貧困や②の飢餓が少ない。日本も江戸時代までは水が命綱だった。戦国武将は農民に米をたくさん作らせ、年貢米で武器を整備し、兵士を養

う、つまり治山治水の名将だった。まさに⑤の陸の豊かさであり、④の海の豊かさでもある。⑤のジェンダー、水が乏しい地域では女性や子どもが4-6時間かけて毎日40リットルの水を頭にのせて運んでいる。水さえあれば、子どもに教育を受けさせることができ、教育を受ければ働くこともできる。⑦のエネルギーも水資源さえあれば水力で電

気がつくれ、木も育つのでバイオマス発電ができる。⑩の気候変動もこれは水害や干ばつなど水と密接な関係がある。

吉村代表は「政府開発援助(ODA)にしても食糧、エネルギー、都市づくりなどが別々になつてしまふ。これからはSDGsの17項目を考えてやるべきだ。特に水を中心にエネルギーと食糧を三位一体で進めていかなければいけない」という。

これからSDGsに取り組む企業もとりあえず自社の得意分野を進めるといふことになると思う。もちろんそれで問題ないが、17項目の底流には「水」が流れていると認識し、水に焦点を当てると取り組みやすいのではないだろうか。